

先輩インターンの活躍について

派遣年度	2012	インターン番号	AP118	タイプ	長期
派遣国	ベトナム社会主義共和国		派遣都市	ホーチミン	
受入機関	Fuji Computer Network Co., Ltd (Fujinet)				
受入機関概要 (事業内容等)	設立 2000年9月 社員数 約250名(派遣時) 日本およびベトナム国外からのソフトウェア受託開発				
派遣期間	2012年9月5日～2012年12月1日				
現在の所属先	日立製作所通信ネットワーク事業部 (但、日立情報通信エンジニアリング出向中)		当時の所属先	同左	
現在の所属部署	IPテレフォニー本部 ソフトウェア開発部		所在地	神奈川県	
区分	大企業		性別	男性	

1. インターンシップに参加されたきっかけや動機についてお聞かせください。

近年ソフトウェアの開発は国内に限らず、多国籍化しておりその調査および経験を積まないかと会社からの打診があり、応募致しました。

2. インターンシップではどのようなことをされましたか。

受け入れ先機関では、日本から受注したソフトウェア開発を現地作業者と一緒に開発を行いました。また、市場調査においてはソフトウェア企業の訪問や交流会参加による情報収集を行いました。円滑なコミュニケーションの実現の為、現地大学(HUFLIT)へ通い、ベトナム語の習得に努めました。

3. インターンシップに参加して達成できたこと、参加して良かったことは何でしょうか。

- ・ベトナム企業のセキュリティ管理、CMMIの取り組み、開発プロセスについて学ぶことができました。
- ・ベトナムのソフトウェア産業について、市場調査により業界動向および有力企業の情報を得る事が出来ました。
- ・受入先機関およびベトナムの各機構においてコミュニケーションネットワークを構築する事ができました。
- ・現地の設計者と共同で作業する事により、コミュニケーションの能力向上を図る事ができました。

インターンシップ風景



受け入れ先企業にて撮影

4 インターンシップの経験は、その後どう活きましたか。具体的なエピソードを交えて教えてください。

- ・オフショア開発による注意点および現地コネクションを社内で共有し、現地受入れ先ではありませんでしたが、ベトナムでのオフショアを開始致しました。
- ・現状の実務は国内主体の事業の為、派遣国との直接的関わりはありませんが、国外からの来客の際などは本インターンシップで得たコミュニケーション能力を活用し、事業説明などを行っております。
- ・個人としては、日立国際奨学財団によるベトナム人留学生のホストファミリーとして、ボランティア活動に参加しており、日本での生活をサポートしています。

5. 最後に、インターンシップへの参加を検討している人たちへメッセージをお願いします。

現地では、日本では体験できない事を多く経験することが出来ました。比較的自由に実習計画を組める為、何をするのか、何を学ぶのかという目的意識を持ち、その目標に向かい計画を立てて研修に臨むことが、成功する重要なポイントだと思います。

HIDA、JETRO、受入機関等、協力してくれる方々が多く、やりたいことができるのが本研修の大きなメリットだと思いますので、是非参加して有意義な体験をしてください。